

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象 知的障害 中学部2年生

2. 単元名 「富士宮市を 見たい 聞きたい 調べたい！」（全28時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	友達や教師と調べ学習・見学を行い、富士宮市の名所、特産物などを知ることができる。
思考力、判断力、表現力等	発表したいことを決め、そのための制作活動に取り組むことができる。
学びに向かう力、人間性等	富士宮市の自然、文化、酪農などについて自分の興味のあるものや、知りたいことを見つけながら、友達や教師と活動を進めることができる。

4. 本時の目標

5. 授業展開【 本時 ・ **単元** 】

解決したい課題や問い

「富士市と言ったら？」「〇〇！」（1年生での既習学習を振り返る）「富士宮市と言ったら？」「・・・」（学区（地域）である富士宮市については、まだ調べていないことや、知らない魅力があることに気づけるようにし、もっと知りたい、知っている情報を伝えたい気持ちを引き出す）

考えるための材料

- ・ 昨年度、富士市についての学習でまとめた制作物や写真
- ・ 学校の位置が入った富士市、富士宮市の地図
- ・ 富士宮市内の施設や特産物などの写真
- ・ 2回見学（情報収集、確認）

想定される活動

- ・ 「富士宮市についてもっと知りたい」「〇〇について調べてみたい」
- ・ 知っていたことや、知らなかったことに気づき、富士宮市が身近な地域であることがわかる
- ・ 調べたいことや、制作したいことの情報を経験や実物から得る、調べたことや制作したものを確認

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決プロセス）

（対話の方法）①グループ：「自然」「文化」「酪農」のグループに分け、興味のある内容を調べる（制作する）②時間設定：前半、後半に2回の見学を設定。まとめ（発表や展示）に向けた調べ学習、制作学習を設定

（対話や思考のプロセス）見学を通し「ここが〇〇だった」「もっと△△にしたい」などの思いを持ち、友達と意見を出し合い、より良いまとめ（制作）になるように協働する

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

「富士宮市が好き」「今度家族で行ってみたい」という言葉が出てくることや、教師の「富士宮市と言ったら？」という質問に対し自分が調べたことや覚えたことについて自信をもって答える姿に期待する。